

鎌倉支援

共生社会の泉湧く

鎌倉支援学校

Since1979



学校だより



第2号
令和8年7月16日

ヨーロッパでは記録的な熱波が報じられ、地球温暖化の影響とみられる気象現象が世界的な問題となっています。日本でも夏の平均気温が過去最高を更新し続けるなど、深刻な酷暑が続いています。

エアコンを上手に活用して、体調を整え、夏ならではの過ごし方やイベントも楽しめるとよいと思います。

第2号では、今年度着任した副校長のご挨拶と、肢体不自由教育部門高等部の1学期の様子、今年2年目となる人権教育研究の内容についてお伝えします。

7月に入りました。今年は梅雨空が長く、例年になく涼しい日が続きました。鎌倉支援学校の周辺は緑が豊かで、朝からさまざまな鳥の鳴き声が耳を楽しませてくれます。これから本格的な夏が到来し、熱中症予防や対策が欠かせない時期となります。本校は校内の空調設備の工事が進み、児童・生徒の昇降口や、2階のホールなどにもエアコンが設置されました。教室外の暑さも少し軽減されることを願っています。引き続き、児童・生徒の皆さんが毎日元気に過ごせるよう、職員一同安全・安心な学校づくりを進めてまいります。



6月末には、今年度第1回目の学校運営協議会が行われました。保護者の皆さまも「コミスク（コミュニティ・スクール）」という言葉がこれまで耳にされたことがあるかと思います。『学校が地域の人的・物的資源を活用し、社会と共有・連携しながら、開かれた学校教育を展開する』学校運営の仕組みのことです。鎌倉支援学校とつながりのある7名の方に委員として出席をお願いしています。



本校の運営協議会は部会が3つあります。学校評価部会（年3回 6月・10月・2月）では、今年度の学校目標について計画を共有し、取組に関するご意見やご助言をいただきます。その他、切れ目のない支援部会では、就学前から卒業までの関係諸機関が集まり、諸課題について協議します。防災部会では学校防災に関すること、また本校が福祉避難所となったことを想定し、対応について協議します。今後、随時本校のホームページに議事録等掲載してまいりますので、ご参照いただければ幸いです。今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

副校長 窪田 朗子



～ 水泳指導 ～ 肢体不自由教育部門高等部

みんな楽しみにしていた水泳指導。今年度は6月からスタートし、5回の実施ができました。鎌倉支援学校のプールは屋内で、室温 30℃、水温 30℃位で実施しています。水温は 33℃の日もあり、温かいです。歩行や浮遊感を楽しんだり、ゆらゆら体をゆらしてリラックスしたり、自ら水しぶきを作って水滴をあびたり、水の中に顔をつけたりして、生徒たちそれぞれが全身で水の感覚を味わう姿が見られました。「去年よりリラックスできたね！」「浮き具を使ってひとりで浮けたね！」という声もあり、成長の見られる場面もありました。肢体不自由教育部門の水泳指導のねらいには、心身の発達や運動機能の維持・向上、感覚統合の促進、リラクゼーションなどがあります。筋緊張の見られる生徒が、水の中では緊張が緩む効果を得られたり、皮膚への水圧、水しぶき、水温などの感覚刺激が得られたりする大切な活動になっています。また来年！



肢体不自由教育部門高等部 学部長 小倉

令和8年度文部科学省人権教育研究指定事業2年目の取り組みについて

昨年度に引き続き、鎌倉支援学校では、人権教育研究の2年目として、去年の実績や反省を元に今年度も人権教育研究に取り組んでいきます。文科省からは、人権課題が提示されており、その中から、「子どもの人権」「障害者の人権」「外国人の人権」「インターネット上の人権侵害」「北朝鮮当局によって拉致された被害者等」の人権課題を選択しました。

研究のテーマは、「意思決定等に関する授業の開発を通して自他を大切にする心を育てる」としました。人権の視点をどのように取り入れるかを考え、日々の学習や活動の中に生かしていきます。9月末には研究授業を行います。今後その様子をホームページなどで発信していきます。

また、学校生活全般で、教員が児童・生徒の人権を尊重した関わりをすることで、児童・生徒が認められる経験を積み、また、その関わり方が児童・生徒をはじめ、周りにも波及することを目指しています。

7月29日（水）には、人権教育研究公開講座として、岩手県立大学の講師・伊藤史人氏をお呼びし、視線入力の講座を開催します。児童・生徒の意思決定を支援する方法の一つとして御講演いただく予定です。ぜひ、お越しください（本校ホームページよりお申し込みができます）。

また、12月にも公開講座を予定していますので、近くなりましたら、お知らせいたします。

支援グループ グループ長 堀之内



「防災デイ」と「鎌フェス」のご案内

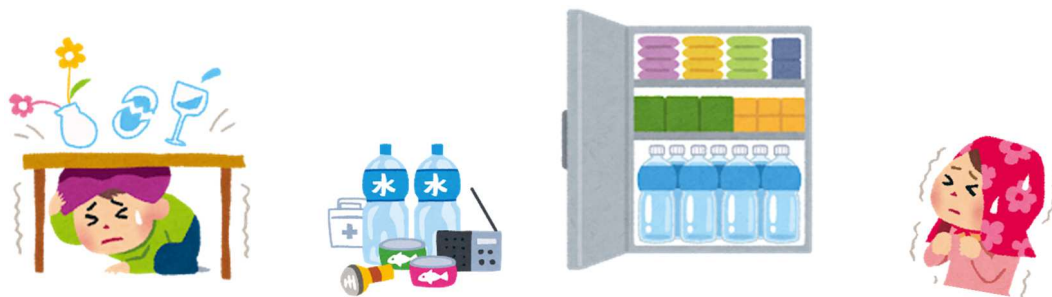
6月下旬には、山梨県を震源とした震度6弱の地震の発生により、神奈川県に緊急地震速報が流れました。岩手県や千葉県などでも地震は続いており、いつ災害が起きても慌てないよう、日頃からの備えが大事であると考えています。

本校では9月16日（水）に「防災デイ」を開催します。防災デイでは避難訓練の実施だけでなく、学校に備蓄している防災食や防災物品を展示し、児童・生徒が実際に触れたり体験したりできる場を設定します。

また、それぞれの学年や学級で防災学習を行う様子を保護者や地域の方に公開する計画を立てています。

さらに、地域の防災士の方を招き、本校が担っている「福祉避難所」という役割についてお話をさせていただく予定です。

この機会に、鎌倉支援学校の子どもたちのことや「福祉避難所」について知っていただき、災害のあらゆる想定について一緒に考え、防災力を高めていきませんか。防災デイのご案内は別途出す予定です。



児童・生徒の日ごろの学習の成果を発表する鎌フェスが、11月20日（金）、21日（土）に開催されます。詳しくはホームページをご覧ください、お時間があればぜひ足をお運びください。



当日展示に向けて準備している装飾作品の一部をご紹介します。